

11月12日（日曜日）は

防災訓練です

想定 震度6弱です

午前8時に震度6弱の房総沖地震が発生しました。

命を守るための行動を自宅で行いましょう。

- ① まず頭を守ります。
- ② 固定されていない家具類から離れます。
- ③ あわてて屋外に飛び出さずに、周囲の状況をよく確かめて、落ち着いて行動しましょう。
- ④ 出口を確保します。
- ⑤ 火災予防のために、避難するときは電源（ブレーカー）のメインのスイッチを切ります。今一度、ブレーカーがある場所を確認しておきましょう。
- ⑥ 揺れが落ち着いたら玄関先に黄色いリボンを掲出します。
- ⑦ 防災訓練は志津コミュニティセンターで行います。お持ちの非常持出袋を持って避難してください。



（4面をご覧ください）

※ 二丁目の一時避難場所は萱橋公園です。自治会では食糧、飲料水を備蓄しておりません。各御家庭での備蓄をお願いします。

カットは「東京くらし防災」から借用

志津コミセンホール会場展示

舞台

防災トイレ体験

簡易トイレで吸収量を試
してください

非常持出袋の
展示

子ども救急訓練

一時救命措置、応急手当
の訓練を行います
一般の方も参加してくだ
さい

車いす体験

乗る、押すを試します

段ボールベッド作り
体験

避難所に設置予定です

発電機充電体験

スマートフォンの
充電体験を！

アルファ米配布

両開きドア

出入口

本部・受付

20M

テント展示

↑

< 展示案内 >

- 防災トイレ訓練
- 非常用簡易トイレを男女別に 2 基設置します。
(災害時には一時避難場所となる萱橋公園に設置)
 - 性犯罪予防の為、利用する際には一人でなく複数で。
- 非常持出袋の掲示
- 避難場所には食糧、飲料水の備蓄はありません。
最低 1 日分の食料はご自身で用意しましょう。
 - 参考までに市販品を展示しますが、お持ちのリュック等で用意されても構いません。
 - 情報源であるスマートフォンの電源確保のために、モバイルバッテリーの準備は必須です。
- 車いす体験
- 要援護者や高齢、病弱のために歩いて避難できない方は車いすを利用します。今回、介助の体験をします。
- 発電機充電訓練
- スマートフォンの充電をします。充電コードをお持ちください。
 - 171 の災害用伝言ダイヤルの使い方を説明するので、ご家族で連絡方法を話し合しましょう。訓練日当日は利用できませんが毎月 1 日と 15 日は体験ができます。
- 段ボールベット組立
- 指定避難所の小竹小学校で設置が予定されているベッドです。試してみましよう。
- 子ども救急訓練
- 東邦大学医療センター佐倉病院の救命分野に係る看護師らの指導により小学生でも実践できる一時救命処置、応急手当の訓練を行います。
 - 訓練では AED も体験します。保護者の方、一般の方も御参加ください。
- テントの展示
- 萱橋公園には雨風をしのぐテント類は用意しておりません。
小竹小学校の校庭、志津コミュニティセンターの駐車場、イオンタウンの駐車場などを避難場所として利用する際の助けになります。

* 避難場所（主として屋外）と避難所（屋内）は違います。

防災訓練のご案内

場所：志津コミュニティセンター 大ホール

時間：午前9時開始（雨天実施） 随時解散

当日は黄色いリボンを午前8時30分までに玄関先等の見えるところに
掲出してください。



災害時は自助、共助、公助が求められますが

災害の規模が大きいほど、消防、警察、自衛隊などの公助は期待できません。

究極の防災は“ご近所の助け合い”＝“ご近助力”です

今回は訓練の為、班長が黄色いリボンの掲出状況を確認しますが、災害時にはご自宅のリボンを掲出したらご近所の掲出有無の確認をお願いします。
掲出されていない場合には避難する前に声をかけてください。

家具の下敷きになったり、額縁が落ちて怪我をしたり、あるいはドアが傾いて開かない可能性があります。

避難するときは非常持出袋を持ちましょう。

一時避難場所である萱橋公園には食料、飲料水の用意がありません。

家族が離れ離れになった場合に備え、連絡方法、落合場所を決めておきましょう。



一言アドバイス

- ・就寝時の枕元には懐中電灯を！
停電した時の一灯で心が落ち着くだけでなく、身の安全も守られます。
- ・新しくお湯を入れ替えるまで浴槽に水をためておきましょう。トイレの機種にもよりますが、災害時のトイレ利用に使えます。